

OPACKホームページ 九大学研都市トピックスに各イベントのサムネイルを掲載しておりますので、そちらでもご覧いただけます。

<https://www.opack.jp/>

当メルマガで取り上げてほしいトピック・情報等ございましたら、

<https://www.opack.jp/contacts/>

までお願いします。

OPACKからのお知らせ

【1】九州大学学術研究都市フォーラム オンライン開催のご案内！

現地会場は定員に達しました

Webでの視聴申込は引き続き受付中です

-----  
テーマ

「共創」拠点 “イノベーション・コモンズ” の実現に向けて

～知のインフラ九大キャンパスを最大限活用し社会的課題の解決に貢献～

-----  
日時：2022年2月7日（月）16：00～18：30

プログラム：

【主催者挨拶】

（公財）九州大学学術研究都市推進機構 理事長 貫 正義

【九大学研都市に関する説明】

（公財）九州大学学術研究都市推進機構 事務局長 石橋 義浩

【基調講演】

「総合知で社会変革を牽引する大学へ」

国立大学法人九州大学 総長 石橋 達朗 氏

地球規模の様々な課題が顕在化している中、これらの課題の多くは多様化・複雑化しており、個々の研究領域の成果だけでは解決が困難です。

指定国立大学法人として指定を受けた九州大学が有する自然科学系、人文社会科学系、さらにはデザイン系の知による本学ならではの「総合知」を創出して、自治体、企業等との連携・協働を通じて社会・経済システムの変革を促し、福岡・九州から、日本、アジアそして世界に広げ、持続可能な社会の発展と人々の多様な幸せの実現に貢献します。

【講演】

「新たな成長エンジンとして九大に期待するもの」

一般社団法人九州経済連合会 会長 倉富 純男 氏

コロナ禍により社会は依然として厳しい状況にありますが、これからはafterコロナに向けて、経済活動の回復を目指す動きを加速させるために知恵を絞り、動いていかなければなりません。

九経連が昨年取りまとめた将来ビジョンでは、2030年のありたい姿とその実現へのアクションを示しました。DXやイノベーション創出など、九大のビジョンと方向性が合致するものも多く、産学連携による課題解決に向けた取り組みについてご紹介します。

「ICT行動変容に関わる学際共創拠点について」

国立大学法人九州大学 大学院システム情報科学研究院 教授 荒川 豊 氏

持続可能な社会の実現や人類のウェルビーイング実現には、人々の行動を変えていく必要があります。しかしながら、全世界で繰り返されるコロナの波のように、人々の行動を変えることは容易ではありません。そうした課題に対して、九州大学の情報工学に関する研究を土台として、心理学や行動経済学、都市工学など、

さまざまな研究者が協働し、伊都キャンパスでの実証を通じて、人々の行動を変えていく諸技術をデザインする学際共創的研究を開始します。

参加費：無料

定員：現地会場は定員に達しました。

WEBは定員なし

新型コロナウイルス感染症の感染状況により急遽イベント内容の変更または延期、中止となる場合がありますのでご了承ください。  
詳細や最新情報につきましては随時HPでご案内します。

申込方法：下記URLよりお願いします

<https://www.opack.jp/events/detail/185>

【主催】(公財)九州大学学術研究都市推進機構  
【共催】九州大学学術研究都市推進協議会  
【後援】国立大学法人九州大学、一般社団法人九州経済連合会  
福岡県、福岡市、糸島市

お問合せ先：公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構【担当：田村】

TEL：092-805-3677

FAX：092-805-3678

・フォーラムチラシ：[https://www.opack.jp/files/MagazineDetail\\_29959\\_file.pdf](https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_29959_file.pdf)

九大学研都市に関する団体・機関からのお知らせ

【2】九州大学アジア・オセアニア研究教育機構(Q-AOS) Brown Bag Seminar Series

第37回(キーワード：臨床試験・治験・固形がん)

第38回(キーワード：ワクチン・昆虫食)

第39回(キーワード：胎児・妊娠) オンライン開催のご案内!【New!!】

概要

九州大学アジア・オセアニア研究教育機構(Q-AOS)では「Brown Bag Seminar Series」を4月から毎週水曜日のランチタイムに開催いたします。アジア・オセアニア地域やSDGsに関連する最新の研究活動を多くの方に知っていただき、異分野研究ネットワークや交流やきっかけの場を提供できればと思います。どなたでも気軽に御参加いただける内容となっております。途中参加、途中退室もOKです。皆様の御参加をお待ちしております。

< 第37回 >

タイトル：免疫細胞を用いたがん治療:最近の進歩

日時：2022年2月2日(水) 12:10~12:50

申込方法：下記受付フォームよりお申し込みください

[https://zoom.us/webinar/register/WN\\_OKkUTKhZSZaiT8CWfqacWg](https://zoom.us/webinar/register/WN_OKkUTKhZSZaiT8CWfqacWg)

申込期限2月2日(水)

< 第38回 >

タイトル：昆虫食とワクチン

日時：2022年2月9日(水) 12:10~12:50

申込方法：下記受付フォームよりお申し込みください

[https://zoom.us/webinar/register/WN\\_AZ-xIn4ZRe6NNYaD4wDrXg](https://zoom.us/webinar/register/WN_AZ-xIn4ZRe6NNYaD4wDrXg)

申込期限2月9日(水)

< 第39回 >

タイトル：胎児期の環境がヒトの発達に与える影響について

日時：2022年2月16日(水) 12:10~12:50

申込方法：下記受付フォームよりお申し込みください

[https://zoom.us/webinar/register/WN\\_L2F6kN3qSfCHT8sxBCRuzw](https://zoom.us/webinar/register/WN_L2F6kN3qSfCHT8sxBCRuzw)

申込期限2月16日(水)

< 各回共通 >

形式：Zoom Webinar

対象者：年齢・職業・立場に関わらず、多くの方のご参加をお待ちしております。

定員：500名

参加費：不要

内容：詳細は下記HPをご覧ください（随時更新いたします）

<https://q-aos.kyushu-u.ac.jp/>

お問合せ先：九州大学Q - A O S 事務局

TEL: 092-802-2603

Email: [aoevent@jimu.kyushu-u.ac.jp](mailto:aoevent@jimu.kyushu-u.ac.jp)

・チラシ：[https://www.opack.jp/files/MagazineDetail\\_29960\\_file.pdf](https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_29960_file.pdf)

九大学研都市に関する団体・機関からのお知らせ

【3】日本学術会議in福岡学術講演会「若手研究者が考える地方創生と学術の未来」

オンライン開催のご案内！【New!!】

---

#### 概要

日本学術会議は、その核としての幹事会（懇談会）を地方で開催して地方関係者と意見交換を行い、より一層強力に地方における学術振興を促進することを目的として、平成30年度より全国各地で地方学術会議を開催しております。令和3年度は「日本学術会議 in 福岡」と題して九州大学と日本学術会議の共催にて開催する運びとなりました。その一環として、学術講演会「若手研究者が考える地方創生と学術の未来」を下記のとおり開催いたします。

---

#### 趣旨：

地方創生には様々なステークホルダーが関わってくるが、その推進に向けて、それぞれが問題を抱えているのが現状である。今回の講演会では、中央政府、地域行政、産業界、地域における高等教育機関、若手研究者、それぞれの関わり方・役割について、主に若手研究者の視点から課題を掘り起こし、これからの地方創生のあるべき姿に迫る。

日時：令和4年2月23日（祝・水）14:00～17:25（予定）

場所：オンライン開催（ZOOM）

参加方法等については、お申込みいただいた方に後日ご案内させていただきます。

#### プログラム：

総合司会：岸村 顕広（日本学術会議連携会員、九州大学准教授・総長補佐）

○開会挨拶 梶田 隆章（日本学術会議会長）

石橋 達朗（九州大学総長）

○総合司会による趣旨説明

○講演1「社会課題解決に貢献する大学への期待、政策立案の立場から」

斉藤 卓也（文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課長）

○講演2「地域におけるイノベーション政策の現状と課題 - 大学と地域の関係性に注目して」

標葉 隆馬（日本学術会議若手アカデミー特任連携会員、大阪大学准教授）

○講演3「地方国立大学における産学・地域連携の「中のひと」～社会と大学の界面観察」

中武 貞文（鹿児島大学准教授）

○講演4「地域文化アイデンティティの再構築と実践

～誇りと尊厳ある生き方（Well-being）を取り戻すために～」

井上 果子（宮崎大学准教授）

○講演5「若手研究者が地域に出ていくために～意義・葛藤・評価から考える～」

小野 悠（日本学術会議連携会員、豊橋技術科学大学准教授）

○日本学術会議地域活性化に向けた社会連携分科会からの報告

○総合討論・パネルディスカッション

【パネリスト】

谷口 功（日本学術会議連携会員、独立行政法人国立高等専門学校機構理事長）

斉藤 卓也（文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課長）

標葉 隆馬（日本学術会議若手アカデミー特任連携会員、大阪大学准教授）

中武 貞文（鹿児島大学准教授）

井上 果子（宮崎大学准教授）

小野 悠（日本学術会議連携会員、豊橋技術科学大学准教授）

○シンポジウム総括 安田 仁奈（日本学術会議連携会員、宮崎大学准教授）

○閉会挨拶 玉田 薫（日本学術会議九州・沖縄地区会議代表幹事、九州大学副学長・主幹教授）

主催：日本学術会議、九州大学（共催）

後援：福岡県、福岡市、公益財団法人日本学術協力財団

参加費：無料

申込期限：令和4年2月18日（金）

申込方法：下記URLよりお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/7L7FSEpQSt>

お問合せ先：日本学術会議九州・沖縄地区会議事務局（九州大学研究企画課研究総務係）

電話番号：092-802-2193

メールアドレス：gjgevent@jimu.kyushu-u.ac.jp

詳細：<https://www.scj.go.jp/ja/event/2022/318-s-0223.html>（日本学術会議HP）

・チラシ：[https://www.opack.jp/files/MagazineDetail\\_29961\\_file.pdf](https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_29961_file.pdf)

九大学研都市に関する団体・機関からのお知らせ

【4】【5G・高周波測定関係】120GHzネットワークアナライザの機器貸しについて

概要

三次元半導体研究センター（糸島市東）において、120GHz帯まで測定できる

新型PNAネットワークアナライザの機器貸しを行っております。

当機器を利用することで、昨今、注目されている5G・ポスト5G領域での試験研究、

人材育成、シミュレーション解析や実デバイス試作等が可能となります。

最先端の当機器と豊富な知識・経験を有するスタッフが、福岡県内、九州域内の

企業様をはじめ、全国の企業様のご利用をお待ちしております。

詳細

機器について詳しく知りたい方、利用を検討されている方は下記リンク

（三次元半導体研究センターHP）よりアクセスをお願いいたします。

<http://jiss.ist.or.jp/infos/149>

お問合せ先

公益財団法人福岡県産業・科学技術振興財団

担当者 本松

電話 092 - 331 8510

e-mail [jiss-itoshima@ist.or.jp](mailto:jiss-itoshima@ist.or.jp)

\* \* \* \* \* 事務局からのお知らせ \* \* \* \* \*

九大学研都市メールマガジン会員募集中

公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構（OPACK）では、

メールマガジン会員を随時募集しております。

ダイナミックに変貌を遂げつつある九大学研都市エリアの最新情報を

メールマガジンにて毎月お届けしています。

産学連携、研究施設、企業立地など、九大学研都市に関する情報に関心のある方には是非お知らせください。

【詳細】

[http://www.opack.jp/files/TopicDetail\\_45\\_file.pdf](http://www.opack.jp/files/TopicDetail_45_file.pdf)

新規のご登録はこちらから

<https://www.opack.jp/users/add>

設定変更等

本メールマガジンはメルマガ会員にご登録いただいた方や、OPACKの各セミナー等にご参加いただいた方あてに配信させていただきます。

メルマガ会員登録内容変更、登録解除、パスワード忘れ等は下記のURLをご参照ください。

<https://www.opack.jp/users/delete>

または、[info@opack.jp](mailto:info@opack.jp)までお問い合わせください。

\* \* \* \* \*